

慢性期医療を考えるための調査結果

目的

地域包括ケア病床に関する検討
地域医療構想の療養病床患者退院の可能性の検討

調査対象

神奈川県内135医療機関（療養病床を有する医療機関）
調査依頼日 平成28年2月15日 調査締切日 平成28年2月26日

回答医療機関47医療機関

回答分析総入院患者数 3 5 7 2 名

神奈川県推計入院患者数（療養病床・医療保険適用病床）
9 7 0 0 名（平成26年度患者調査）

調査内容

産業医科大学松田教授が平成27年福岡県で実施
今回の調査については、産業医大松田教授の了解のもとで同じ調査票で実施

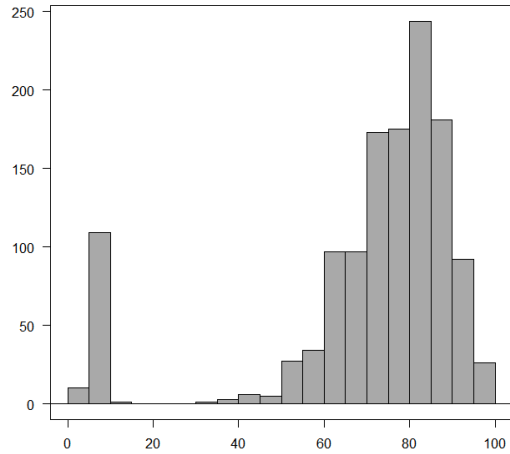
調査票回答数

調査回答で、回答していない項目がある為に、すべての結果毎の集計（数字）は合わない

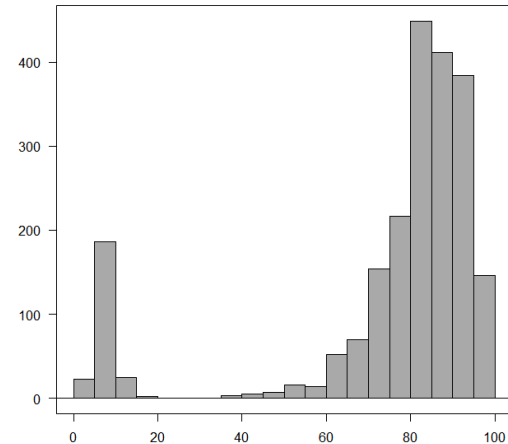
調査票 2

年齢構成

医療区分 1・2・3 合計

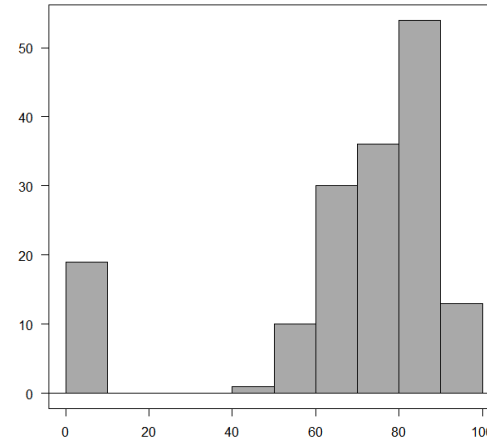


男性

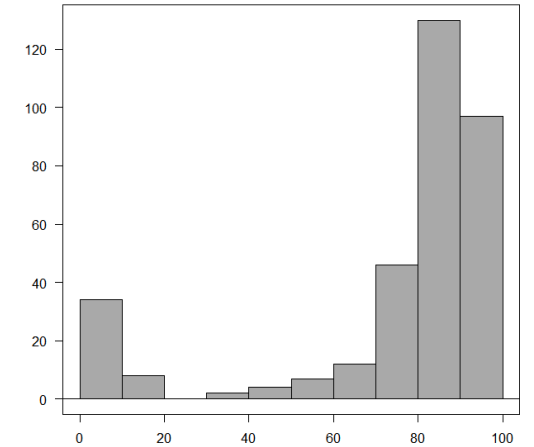


女性

医療区分 1



男性



女性

	平均	最小値 (0%)	第一四分位数 (25%)	中央値 (50%)	第三四分位数 (75%)	最大値 (100%)
男性	71.1	1	67	78	85	99
女性	75.6	1	75	84	89	99

	平均	最小値 (0%)	第一四分位数 (25%)	中央値 (50%)	第三四分位数 (75%)	最大値 (100%)
男性	68.6	1	62	62	85	99
女性	75	1	76	76	91	99

医療区分 1・2・3 と医療区分 1 との年齢構成をみると、中央値は男性16歳女性 8歳少なかった

性別数でみた医療区分

		性別		合計	
		男性	女性		
医療区分	1	度数	163	342	505
		%	32.3%	67.7%	100.0%
	2	度数	579	958	1537
		%	37.7%	62.3%	100.0%
	3	度数	464	746	1210
		%	38.3%	61.7%	100.0%
	合計	度数	1206	2046	3252
		%	37.1%	62.9%	100.0%

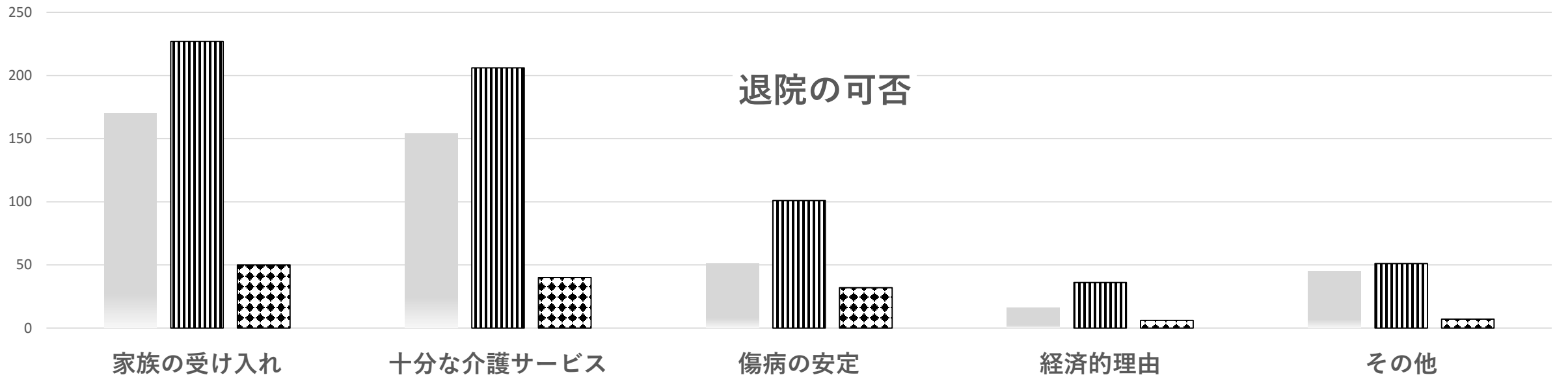
p<0.05 χ^2 検定

各区分とも女性が6割と多かった

医療区分別にみた退院可能性

		退院可能性				合計	
		退院可能	条件が整えれば可	退院は難しい	不明		
医療区分	1	度数	42	229	201	29	501
		%	8.4%	45.7%	40.1%	5.8%	100.0%
	2	度数	20	308	1083	124	1535
		%	1.3%	20.1%	70.6%	8.1%	100.0%
	3	度数	9	68	1021	99	1197
		%	0.8%	5.7%	85.3%	8.3%	100.0%
	合計	度数	71	605	2305	252	3233
		%	2.2%	18.7%	71.3%	7.8%	100.0%

医療区分1では「退院可能と条件が整えれば可」が54%・「退院が難しい」40%であったが、医療区分2・3では「退院が難しい」の回答が70%以上であった。医療区分3では、「退院が難しいが」目立っている。



(7) (6) で2と回答した場合の理由 (当てはまるものすべてに1)

■ 医療区分 1 ▨ 医療区分 2 ▣ 医療区分 3

	家族の受け入れ	十分な介護サービス	傷病の安定	経済的理由	その他
医療区分 1	P<0.01	P<0.01	P=0.84	P=0.22	P<0.01
医療区分 2	P=0.5	P=0.67	P=0.08	P=0.05	P=0.95
医療区分 3	P<0.01	P<0.01	P=0.86	P=0.56	P<0.01

退院の可否の理由では、医療区分 1・3 では「家族の受け入れ」「十分な介護サービス」が退院の可能性に関係していた。「経済的理由」は各区分で、退院の可能性とは関係が低かった。